

○報告第6号

地方独立行政法人さんむ医療センター平成22事業年度の業務実績に関する評価結果の報告について

陳情

○陳情第2号 継続審査

「子ども・子育て新システム」導入に反対する意見書を国に提出することを求める陳情書

○陳情第3号 継続審査

公設公営保育所への特定財源の復活に関する意見書を国に提出することを求める陳情書

○陳情第4号 継続審査

県の「児童福祉施設の

設備及び運営に関する基準」の条例化にあたり市町村が独自に設定している上乗基準などの反映を求める意見書提出に関する陳情書

議員発議案の概要
○発議案第1号 可決
減災道路整備に関する意見書について
住民の生命と財産を守り、安心安全な生活環境の向上を図るため、大規模地震に備えた津波対策の一環として、山武市から旭市までの九十九里浜沿岸に、減災機能を兼ねた道路整備を要望するもの

決算審査特別委員会の設置

決算審査特別委員会委員

委員長	齋藤 悟朗
副委員長	高橋 忠
委員	行木 三郎
〃	大塚 重忠
〃	大川 義男
〃	川原 春夫
〃	越川 哲
〃	小川 良一

平成22年度各会計決算関係議案を審査するため、決算審査特別委員会を設置し、継続審査とすることになりました。
決算審査特別委員会は、10月6日と7日に開催され、慎重に審査されました。

経済建設常任委員会

9月9日開催

付託案件と審査結果

○議案第7号の一部 (原案可決)

○議案第10号 (原案可決)

○議案第11号 (原案可決)

質疑要約(主なもの)

議案第7号について(歳入)

Q 住宅用太陽光発電設備導入促進事業補助金は何軒分に相当するのですか

A 1軒につき7万円です。20軒分に相当します。

議案第7号について(歳出)

Q 避難者応急仮設住宅借上事業が最長2年と

なっているが、その後の期間の延長などはあるのですか

A 仮設住宅と同様の条件になるので、基本的には2年で終了します。

Q 消費生活相談事業について相談員は決まっているのか、また消費者センターの設置はあるのですか

A 現在、相談補助員の面接を予定しています。将来的にはセンターの設置を予定していますが、立ち上げは平成25年度からの予定です。

総務常任委員会

9月12日開催

付託案件と審査結果

○議案第1号 (原案可決)

○議案第2号 (原案可決)

○議案第7号の一部 (原案可決)

○議案第8号 (原案可決)

質疑要約(主なもの)

議案第2号について

Q 消防団の団員数はいくらまで減らすのですか

A 部の統廃合が成東・連沼地域で進んでいるので、落ち着くまでは定数に変動があるかと思いますが、消防力も確保しなければならぬので、そろそろ定数を見定めていく時期が近づいていると思います。

議案第7号について(歳出)

Q 本庁舎に整備される発電機について伺います

A 設置台数は1台。燃料は軽油で、容量は490リットル程度、最大能力の75パーセントで運転した場合、12時間程度の運転が可能です。災害対策本部の電灯や防災関係の機器類はカバーできる容量です。

防災無線や無線機は

9月13日開催

付託案件と審査結果

○議案第3号 (原案可決)

○議案第4号 (原案可決)

○議案第5号 (原案可決)

○議案第6号 (原案可決)

○議案第7号の一部 (原案可決)

質疑要約(主なもの)

Q 防災無線や無線機は停電時でも使用できるのですか

A 防災無線には停電対応の電源装置があります。無線機はバッテリーで稼働するので停電時でも使用が可能です。

Q 防災ハザードマップの作成が繰り越された理由について伺います

A 今年3月に完成の予定でしたが、3月11日の大震災により、想定を超える津波被害を受けたことから検証しなおす必要があるだろうと判断し、津波ハザードマップを作りなおすため、繰り越しました。

文教厚生常任委員会

9月13日開催

付託案件と審査結果

○議案第3号 (原案可決)

○議案第4号 (原案可決)

○議案第5号 (原案可決)

○議案第6号 (原案可決)

○議案第7号の一部 (原案可決)

○議案第9号 (原案可決)

○陳情第2号 (継続審査)

○陳情第3号 (継続審査)

○陳情第4号 (継続審査)

質疑要約(主なもの)

議案第3号について

Q なぜ、今この条例を制定するのか伺います

A 4月に市の教育振興基本計画が策定し、次年度から運用を開始するためです。

議案第4号について

Q 1億円という基金の額の根拠を伺います

A 一人当たり修学金月4万円と入学準備金30万円を毎年5名の方を対象にし、4学年あるため、返済を借り入れの倍の8年間として積算しました。

議案第5号について

Q 財源を伺います

A 地域活性化交付金です。

議案第7号について(歳出)

Q 緊急ことも園整備事業の「緊急」という意味について伺います

A 対象となる4つの園は平成25、26年の実施計画であったが、施設の老朽化、耐震基準不足、津波などの震災対策から、繰り上げる必要が生じたためです。